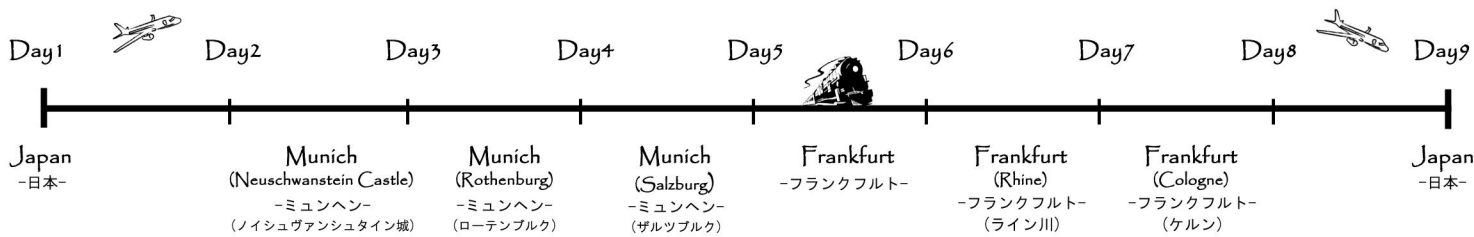


German

ドイツ



ノイシュヴァンシュタイン城

Day2 Neuschwanstein

ドイツの南、雄大な自然の中にひっそりと佇む「白鳥城」の別名を持つ白亜の城。あのシンデレラ城のモデルになったと言われる、ドイツに行ったら欠かせない一番の観光スポットです。数々の美しい城を建てたことから「メルヘン王」とも呼ばれている、第4代バイエルン国王ルートヴィヒ2世が築城し、彼の建てた城の中でも最高傑作と言われています。春の新緑、秋の紅葉、雪景色と季節ごとに異なる姿を見ることができるのも魅力の1つ。内装の造りや調度品も豪華で美しく、中でも「王座の間」の黄金の天井と重さ900kgを超える巨大な王冠の形をしたシャンデリアは圧巻です。



ライン川クルーズ

Day6 Rhine cruise

両岸に数多くの古城や城跡が残る「父なる大河」ライン川。中世ドイツの雰囲気を満喫したいのであれば、観光船に乗って巡るクルーズがオススメです。たっぷり満喫派は、川沿いの古城ホテルに宿泊を。お城に泊まればたちまち気分は騎士&プリンセス。ライン川観光の中心地・リュエデスハイムはドイツ有数の白ワインの産地として知られ、「つぐみ横丁」にはワイン酒場が軒を連ねます。



ザルツブルク

Day4 Salzburg

アルプスの山々をバックにした美しい旧市街は「ザルツブルク市街の歴史地区」として世界遺産に登録されています。「ザルツブルク」は「塩の城塞」の意味で、その名の通り、近郊で塩が採掘されこの街からヨーロッパ中に塩が輸出されました。モーツァルト生誕の地であり、世界的に名高いザルツブルク音楽祭の開催地であることから、「音楽の都」としてその名をとどろかせています。



ケルン

Day7 Cologne

中央駅のすぐ横にそびえ立つ世界遺産・ケルン大聖堂は必見。533段のらせん階段を登りきるとドイツの大パノラマが広がります。朝日がやさしく大聖堂内のステンドグラスを照らし、やわらかい雰囲気にも包まれる、早めの時間帯に行くのがオススメ。自分へのお土産はオーデコロン発祥の名店「4711」の香水を。ケルンのビール「ケルシュ」は愛好家にはたまらない逸品。限られた醸造所だけがケルシュを名乗ることが許されており、ドイツ国内でもケルン以外ではほぼ販売されていません。旅先でしか味わえない、地元ならではのビールを堪能してください。



Schedule

日程表

日付	都市名(空港名称)	時間	交通機関	スケジュール
10/01(日)	東京(羽田)発 ミュンヘン(フランク・ヨーゼフ・シュトラウス)着	12:35 17:40	LH715	東京(羽田)発・ミュンヘン(フランク・ヨーゼフ・シュトラウス)へ ミュンヘン(フランク・ヨーゼフ・シュトラウス)着 ミュンヘン泊
10/02(月)				ノイシュバンシュタイン城 ミュンヘン泊
10/03(火)				ロマンティック街道・ローテンブルグ ミュンヘン泊
10/04(水)				ザルツブルグ観光 ミュンヘン泊
10/05(木)				ミュンヘン⇒フランクフルト(鉄道) フランクフルト泊
10/06(金)				ライン川クルーズ フランクフルト泊
10/07(土)				ケルン観光 フランクフルト泊
10/08(日)	フランクフルト(フランクフルト)発	18:05	LH716	フランクフルト(フランクフルト)発・東京(羽田)へ 機中泊
10/09(月)	東京(羽田)着	12:15		東京(羽田)着